



**PHILIPS**

Seminar



## 第58回日本呼吸器学会学術講演会

The 58th Annual Meeting of The Japanese Respiratory Society

### イブニングセミナー 18

日時：2018年4月28日(土) 17:30～18:30

会場：第12会場（大阪国際会議場 10F 1006・1007）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

## COPDの啓発活動から見た 呼吸リハビリテーションの課題と展望

座長：桂 秀樹 先生

（東京女子医科大学八千代医療センター 内科 呼吸器内科）

演者：千住 秀明 先生

（公益財団法人結核予防会 複十字病院 リハビリテーション科）

定員：150名 参加方法：整理券の配布は行いません。直接会場へお越しください。

共催：第58回日本呼吸器学会学術講演会  
フィリップス・レスピロニクス合同会社

# 第58回日本呼吸器学会学術講演会 イブニングセミナー 18

日時：2018年4月28日（土）17:30～18:30 会場：第12会場（大阪国際会議場 10F 1006・1007）

## COPDの啓発活動から見た呼吸リハビリテーションの課題と展望

千住 秀明 公益財団法人結核予防会 複十字病院 リハビリテーション科

2009年からGOLD日本委員会によるCOPD認知度把握調査が実施されてきたが、2013年の30.5%をピークに減少傾向が続き、2016年には25.0%まで低下した。

2017年の調査では25.5%までわずかに回復したが、「どんな病気が良く知っている」と答えたものは10%にも達していない。結核予防会は、2017年から東京都が主催する肺年齢測定会に協力し、都内4か所で肺年齢の測定を実施してきた。804名の市民が測定会に参加し、COPDを知っていた者は14.8%、聞いたことがある者は23.7%、知らなかった者は59.9%であった。しかし過去に肺年齢測定を受けたことがある経験者は、肺年齢測定を受けたことのない者と比較すると、約6倍COPDを認知しやすく(OR: 5.92[2.57-13.7],  $p < 0.05$ )、全国各地で肺年齢測定会を行うことで、COPDの認知度を高めることができる可能性を示唆していた。

一方、学会の「COPD診断と治療のガイドライン第4版」では、薬物療法の開始と同時に呼吸リハビリテーションが推奨され、その科学的根拠も示されている。しかし、臨床現場では、COPDと診断されても呼吸リハビリテーションが処方されるまでにさらに数年を要し、中には重度になっても呼吸リハビリテーションが行われていないことが少なくない。本セミナーでは、COPDの啓発活動から見た、呼吸リハビリテーションの課題と展望について討議する。

### 略歴

1974年	3月	九州リハビリテーション大学卒業
	4月	星ヶ丘厚生年金病院勤務
1976年	12月	国立療養所近畿中央病院
1982年	3月	大阪産業大学工学部機械工学科卒業
1986年	4月	長崎大学医療技術短期大学部 講師
1988年	4月	同 助教授
1999年	7月	医学博士（長崎大学医（医）乙1548号）
2000年	12月	Curtin大学 理学療法学科留学（文部省在外研究員）
2001年	10月	長崎大学 医学部 保健学科 理学療法学専攻教授
		同 理学療法学専攻主任（2006年3月まで）
2006年	4月	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 保健学専攻教授
	11月	NHKためしてガッテン出演
2008年	4月	同、理学療法学専攻主任（2012年3月まで）
	5月	NHK日曜フォーラム出演
2009年	5月	社団法人日本理学療法協会 協会賞受賞
2010年	4月	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 教授
		リハビリテーション科学講座 内部障害リハビリテーション学分野
2012年	4月	Excellent Paper Award Journal of Physical Therapy Science
	11月	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会「学会賞」受賞
		日本呼吸ケア・リハビリテーション学会「優秀演題賞」受賞
2013年	10月	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会「優秀演題賞」受賞
		経産省「日本の医療機器・サービスの海外展開に関する調査事業～
2014年	1月	国際呼吸リハビリテーションフォーラムを中国、韓国、日本で主催～
	10月	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会「優秀演題賞」受賞
2015年	3月	長崎大学定年退職
	4月	複十字病院 呼吸ケアアビリセンター 部長
		長崎大学名誉教授
2016年	1月	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻
		抗酸菌感染症学講座 連携大学院教授

### 関心領域

呼吸リハビリテーション・呼吸理学療法・理学療法士教育・在宅医療  
患者教育・慢性閉塞性肺疾患の疫学・中国韓国の呼吸リハ啓発活動

### 著書

「呼吸リハビリテーション入門（神陵文庫 単著）」  
「はじめての研究法第2版（神陵文庫 共著）」  
「理学療法学テキストシリーズ監修・編集（神陵文庫 共著）」  
「呼吸リハビリテーションマニュアルー運動療法ー第2版  
（照林社 共著）」  
「呼吸リハビリテーションマニュアルー患者教育の考え方と実践  
（照林社 共著）」  
「今日の治療指針（医学書院 共著）」 その他

### 社会活動

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 功労会員  
理学療法科学学会 評議委員  
社団法人 日本呼吸器学会会員  
European Respiratory Society member

## フィリップス・レスピロニクス合同会社

〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号フィリップスビル  
www.philips.co.jp/healthcare/

